

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

清水ヶ丘地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

毎月定例で実施している 6 職種会議を中心に各自が地域との活動を通して入手した情報の共有を図り、今後の事業展開の検討素材として活用しました。

このほか、職員が南消防団に加入し連携を深めることにより、ケアプラザ祭「ヒルトップフェスタ」への出店協力などを実現しました。また「ヒルトップフェスタ」においては保健活動推進員からの呼びかけにより、2 地区合同での健康測定会を行うなど昨年度にも増して「ヒルトップフェスタ」を通じた地域への浸透具合を感じることができました。「ヒルトップフェスタ」全体においては、引き続き清陵高校やドンドン商店会等に加え、夜間貸し室利用のサークルなど新たな地域関係者の協力を得て開催することができ、500 人を超す方々が来場しました。

協力医との連携については、あずまカフェやケアマネサロンの定期開催により、医療と介護の連携に向けた顔の見える関係づくりに取り組みました。さらに地域の集いの場事業を通じて、地元にある病院の紹介を受け今後の事業協力について明るい話題を提供してもらいました。また、6 月に開催した包括版地域ケア会議では、太田地区の関係者が一同に会し、積極的な意見交換を行うことができ、そのときに把握した地域課題に基づき、友愛活動推進員との地域ケア会議などを企画・開催しました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

○ 高齢者・障害・子ども等幅広い分野の相談について、相談者に情報提供できているか

● 中部地域療育センターとの併設のためか、障害や子どもに関して直接の相談はほとんどみられませんが、高齢者の相談支援を通じてその親族縁者等で間接的に障害や子どもの相談に関わることがあり、その都度、区の CW 等にも相談しながら関係機関への仲介など適宜対応を行いました。

○ 地域の特徴やニーズを把握し、相談や情報提供の手法に反映させているか

● 地域情報については、6 職種会議を中心に共有を図るとともに、過去の相談記録についても集計により地域ごとの状況把握に努め、相談対応に限らず、地域ケア会議の展開などにも活用しました。

○ 窓口だけでなく、自主事業・会議等さまざまな場面で相談・情報提供ができており、機能が周知されているか

● 地域包括支援センターの周知を行うことを目的に、地域の高齢者食事会などの参加の機会を通じて、案内チラシの配布を行いました。また、地域包括支援センターの周知と高齢者虐待防止の啓発を目的にポケットティッシュ版チラシを作成し、案内チラシと同様に地域の高齢者食事会などで配布を行いました。ポケットティッシュ版チラシはヒルトップフェスタでも配布し、大勢の方に手に取ってもらい、啓発することができました。

(2) 各事業の連携

- 地域包括支援センターの3職種の専門性、コーディネーターの地域とつなぐ力、地域の生活者の視点を取り入れて支援ができていますか
- 所長、地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターによる6職種会議を月1回定例開催し、地域情報や自主事業等についての情報交換を行い、地域住民の関係性や町内会単位での実情等の情報共有を図り、支援に活かしました。
- 地域包括支援センターが把握した課題（ひとり暮らし高齢者の支援等）をコーディネーターも含めて地域に伝え、地域でできる支援体制や啓発事業などへとつなげているか
- 6職種会議に限らず、日常業務を通じて常に情報交換を行うとともに、地域への周知が必要な情報等については、ふれあいサロンや食事会、地区民生委員児童委員協議会の定例会等地域で行われている行事に積極的に参加・協力した際に情報発信に努めました。現在のフォーマルサービスでは不足している見守り等について、エリアの担当民生委員との協力体制を構築して、インフォーマルサービスとして機能することを目指し、ケアマネジャーと民生委員の交流会を行い、地域で支え合う支援体制の強化に努めました。
- 包括・地域交流の連携で、地域にさまざまな個別の課題を解決した事例があるか
- 包括と地域交流に限らず、介護保険事業も含めたケアプラザ内の職種間で情報交換を行い、例として、ケアプラザを拠点として活動する生活支援ボランティアグループが支援を行う際には連携・協力し、ひとり暮らし高齢者等の介護保険サービスでは対応出来ない日常生活支援について、4～5件/月解決してきました。また、地域の高齢者サロンに参加して顔の見える関係を築くことで、参加者からの相談に気軽に応じることが可能となり、ある日の相談では、すみやかに介護保険サービスの導入につなげることができ、現状の生活を維持することができた事例もありました。
- コーディネーターが把握している地域ニーズから、包括支援センターで取組みが行われているか
- 6職種会議での情報共有を経て、例えば地域ケア会議のテーマを掘り下げるなど、常に互いの情報が連動する形でケアプラザの事業展開を図りました。
- 上記から得た情報を記録し、ケアプラザ内で共有しているか
- 6職種会議の議事録や法人で使用している地域アセスメントシートによる記録を行い、情報共有に努めました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 所長を含む常勤職員が適切に配置出来ているか（※欠員が発生していないか）
- 適切な職員配置が行われていますが、介護保険事業である通所介護事業における必要な人員確保については、職員募集のチラシ配布などあらゆる方策を試みっていますが、改善の兆しが見えず、人材派遣を利用しなければならない状況が続いています。引き続き人員確保に向けて取り組みます。
- 職員の資質向上等を図るため具体的な育成計画を作成するなど、取組（研修等）が行われているか
- 職員のスキルアップについては、南区や横浜市が主催する研修に積極的に参加するとともに、法人として市内20ヶ所ある地域ケアプラザが連携・協力し、専門職ごとに集まる会議や研修を通して、情報交換を行い、業務遂行手順や必要な書式等の資源開発にも取り組みました。また、法人として採用年数に応じた初任者研修や中堅研修なども行い、組織人としての資質養成に努めました。
- 研修参加者による報告等を行っているか
- 個別の研修報告書や必要に応じて伝達研修を行うなど、必要な知識の共有に努めました。
- 利用者・事業者を問わず、公正・中立性を確保するための取組が行われているか

- 関係する事業所との結びつきを強めるためにケアマネサロンなどを定期開催し、常に顔の見える関係づくりに取り組むとともに、例として介護予防支援に関するプラン作成が特定の事業所に偏らないよう、依頼先について記録するなどして、情報共有を図り、公正・中立性を確保するよう努めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

○地域の関連団体や関係機関と情報交換や定期的な会合等を通じてネットワークが構築できているか

- 地域包括支援センター3職種、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターに加え、所長・副所長も連携のうえ、太田地区社協・太田東部地区社協や老人クラブ、太田地区友愛活動推進員による太田いこいサロン、太田地区社協の食事会3ヶ所や太田東部地区社協のドンドン食事会への参加協力を通じて顔の見える関係づくりに努めました。また、6月に行った包括版地域ケア会議では、太田地区としての取り組みについて、積極的な意見交換を行うことができました。この会議を通じて把握した地域課題に基づいて、友愛活動推進員との地域ケア会議などを企画・開催しました。このほか、太田東部連合町内会と太田東部地区社協による「集いの場」の運営に関し、南区社協とも連携のうえ支援に努めました。認知症キャラバンメイトの取組推進についても、太田東部地区のオレンジの会を中心に、太田地区の活動についても支援を続けました。このほかケアプラザを拠点として活動しているボランティアグループ「配食サービスなでしこの会」と「生活応援団ちょぼら」の活動を支援しました。以上に加え、近隣の保育園や小・中学校、高校などの職業体験学習や大学生や教員、公務員等の実習なども積極的に受け入れました。

(5) 区行政との協働

○地域ケアプラザの役割を理解し、区と協働して取り組んでいるか

(1) 地域福祉保健計画 (2) 運営方針 (3) 区事業 等

- 太田地区・太田東部地区第3期地区別計画推進中間・期末振り返り会議、南区地域支援チーム連絡会に参加し、南区・南区社会福祉協議会との連携を行いました。地域活動交流では、「地域ケア施設連絡会」「サマーフレンド」「まるごとみなみ施設連絡会」「みなっち茶屋」「南区子育てもっとネット」「ちょこボラ交流会」に連携協力しました。また、「健康スタンプラリー」「まちのほっとスペーススタンプラリー」「まるごとみなみスタンプラリー」に参加協力しました。各スタンプラリーでは、日頃見かけない方の参加や来所につながりました。また「南なんデー」について、今年度は生活支援コーディネーターが参加し、生活支援体制整備事業のPRコーナーを設置しました。生活支援コーディネーターとしては「南区生活支援コーディネーター連絡会」を中心に南区・南区社会福祉協議会との情報共有を図るとともに、地域と連携・協力して展開する事業においては、南区社会福祉協議会の地区担当と密に連絡を取り合い進めました。地域包括支援センターとしては、「南区地域包括支援センター連絡会」を始め、南区との毎月定例のカンファレンスで情報共有に努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 自主事業を通じて福祉保健活動の開発・実施や新たな地域福祉のための取組を地域の実情やニーズに合わせて行っているか
 - 講座「脳トレルーム」より自主サークルが立ち上がり、10月から月2回の活動になりました。また、ドンドン商店会縁日やケアプラザ祭において手芸サークルが作品バザーを行いました。
- 高齢者だけでなく、子ども・障害分野の事業を実施しており、自主活動化への働きかけを行っているか
 - 地域住民向けに、0才から高齢の方まで参加できる「みんなで体操」を開催し、多世代交流につながりました。障がい児向けに「バリアフリーテニス」を年3回開催し7年目となりますが、現在リピーターは小学生から高校生まで6名おり、卒業生のボランティア参加もあるため、地域ボランティアとも顔のつながる関係となっています。
- 施設内だけでなく、出前講座などを開催し地域で事業を展開しているか
 - 子育てサロンや高齢者サロン、食事会へ出向き、健康や福祉保健活動についての情報発信を行いました。南警察署から協力要請があり、「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺関連の啓発を地域向けに5回実施しました。また、今年度は法人全体20ヶ所のケアプラザの合同企画による「ちゅーりっぷファミリーコンサート」を市民の方を対象に開催し、多くの方が参加しました。
- 具体的な目標（数値・成果）を設定し、目標を達成しているか
 - 新規講座立案から自主サークル化のプロセスを経て、2回/月自主サークルの活動となり、目標達成ができました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 福祉保健活動団体や地域団体に場の提供を行うにあたって、利用率をあげるための取組が行われているか（登録利用団体向け説明会、最新の空き情報の掲示等）
 - 自主事業や地域行事、広報紙で利用方法の案内とPRを行いました。また、最新空き情報について、利用者の目に付くように月ごとに窓口にポスターを掲示するとともに、ケアプラザのホームページにも掲載して情報発信を行いました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ボランティア育成のための講座開催などの取組を行っているか
 - 「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」を行い、ボランティア活動につながる支援を行いました。また、「くらしと趣味の学習館」では「生活応援団ちょぼら」のメンバーに講師やサポーターとして協力を仰ぎ、ちょぼら活動につながるような講座を開催しました。
 - ボランティア登録及びコーディネートを行っているか
 - ボランティア登録は随時行い、面談のうえ希望に沿った活動が出来るように調整しました。また、ケアプラザを拠点に活動している「生活応援団ちょぼら」と「なでしこの会」のボランティアコーディネートとして、窓口機能や連絡調整などの支援を行いました。
 - 区社協ボランティアセンターとの連携が取れているか
- ※ボランティア同士のネットワーク化、具体的な活動支援、名簿の整備とコーディネート
- 区社協ボランティアセンターからボランティア活動について相談を受けたり、ケアプラザからボランティア募集などを周知依頼することもあり、日頃から連携を取りながら進めることが出来ました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社協・連合町内会・地区民児協・地域のサロンや昼食会、配食サービス等など）を把握し情報提供※できているか

※情報提供：広報誌の定期的な発行や会議等での紹介など

●年4回発行しているケアプラザの広報紙やホームページでの情報発信を始めとして、地域行事などに参加した際には情報提供を行いました。また、ホームページの「子育てカレンダー」で地域の広場や施設情報を案内しました。地域住民やケアマネジャーなどからインフォーマルサービスについての相談があった際は、必要な情報をお伝えしました。

○区、区社協からの提供データをうけて積極的に整理・活用できているか

●チラシやポスターなどを活用して情報提供を行いました。

○会議・利用団体等との情報交換から把握したニーズの取りまとめができているか

●自主事業参加者や貸室利用者にアンケートを行い、今後の事業展開の参考になるよう記録を残しています。

○会場利用団体の活動を紹介や交流会を開催できているか

●ケアプラザの広報紙は年4回発行しており、紙面で個人や団体のボランティアやサークルなどを紹介しています。また、利用団体やボランティア団体のポスターを作成し、館内掲示や運営協議会での紹介を行っています。また、年1回ボランティア交流会を行い、それぞれの活動紹介などを行っています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

○地域アセスメント等に基づいた地域支援方針（目標）を設定し、5職種が連携・補完しながら、地域ケアプラザ全体で事業実施できる体制が整っているか

●毎月1回の6職種会議を中心に、日常的な情報共有に基づいて、法人仕様の地域アセスメントシートを活用しながらそれぞれに連携・協力のうえ取り組みました。

○区役所・区社協・他の地域ケアプラザ等と生活支援体制整備事業推進のノウハウ等を共有する機会を持っているか

●南区・南区社協・区内他施設生活支援コーディネーターと、毎月1回連絡会とワーキングなどで情報交換を行いました。また、お互いに連携・協力する風土が構築されているため、気になることがあればすぐに連絡を取り合える関係となっています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

○個別ニーズから、地域の高齢者の生活課題やニーズを把握しているか

●南区と地域包括支援センターが実施するカンファレンス会議へ出席し、総合相談に関する情報把握に努めました。また、総合相談の情報と民生委員の見守り対象であるひとり暮らし高齢者リストの情報を住宅地図へ落とし込み、地域状況の視覚化に取り組みました。

○住民主体の地域活動や生活支援サービスを提供している市内事業者等の状況を、広く把握し、地域活動・サービスリスト等にまとめているか

●把握した地域活動等については、横浜市の地域活動・サービスデータベースシステムの情報入力を行いました。

○地域資源の情報が地域ケアプラザ内で共有され、ケアマネジメント等に活用されているか

●把握した地域情報に基づき、ケアマネジャー等からの問い合わせや相談に対応しました。

(3) 連携・協議の場

- 地域にどのような連携・協議の場があるか把握できているか
- ケアプラザが担当するエリアとしては2つの地区に分かれており、それぞれの連合町内会や地区社協、老人会や単一町内会など様々な機会を通じて、行事等に参加するよう努めました。
- 連携・協議の場を活用し、目指す地域像を地域と共有できているか
- 太田東部地区において、南区社会福祉協議会の地区担当とともに地区社協会長と連携のうえ、太田東部地区社会福祉協議会の意義や役割などについて見直しを図る機会を得ることができました。
- 連携・協議の場への参加等を通じて、必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動・サービスの創出・継続・発展等に向けた働きかけを行い、実現できているか
- 太田東部地区の集いの場づくりについては、お茶のみサロン「ひよっこり茶屋」の開催と並行して話し合いを重ね、組織体制や活動内容などがまとまりつつあるところであり、引き続き必要な支援を続けます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 区役所・区社協・他の地域ケアプラザ等と情報を共有することで、より広域の地域課題について、自らの担当圏域の地域課題と関連付けて認識しているか
- 毎月定例の南区生活支援コーディネーター連絡会とワーキンググループに参加し、区内の生活支援コーディネーター、南区役所、南区社会福祉協議会との連携に努めました。区域の課題として、区内でちょこっとボランティア活動を展開するボランティア団体同士の交流と顔の見える関係づくりを目的とした交流会を区内関係者の実行委員会形式により年3回開催しました。このほか、生活便利グッズ等の情報収集・提供、生活支援につながる講座開催、生活体制整備事業の広報ツール作成を目的とした「生活支援みなみプロジェクト」を立ち上げました。「生活支援みなみプロジェクト」としては、今年度の南なんデーに参加し、生活体制整備事業の周知に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域の社会資源や地域のネットワークを把握し、活用できるよう情報を管理できているか
- 地域行事への参加や地域ケア会議等において、地域ネットワークの把握に努め、ケアマネジャー連絡会や相談の際に情報提供ができるような機会を設けました。また、その情報は法人仕様の地域アセスメントシート等を活用して管理しより多くの情報を把握・提供できるようにしました。
- 地域包括支援センターへの理解が深まるよう、地域の会合等への出席や関係機関等への訪問等を通じて、周知をしているか
- 地域の食事会やサロン、民生委員児童委員協議会の定例会等の福祉保健関係者の会合に出席し、地域包括支援センターのチラシを配布するなど周知活動を行いました。
- 地域の関連団体や関係機関との情報交換や会議等を通じて、支援チームが機能するための基盤となるネットワークの構築を行っているか
- 地域ケア会議にて民生委員・児童委員、友愛活動推進員、自治会町内会等とのネ

ットワーク構築を行いました。また、太田東部三者連絡会に参加することで新たに保健活動推進員とのネットワークも構築しました。

②実態把握

- 各種統計資料等から圏域の情報を収集しているか
 - 横浜市ポータルサイト等から各種統計等のデータを収集し、法人仕様の地域アセスメントシートへ落とし込み、情報分析に活用しました。
- 相談や関係機関などからの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握しているか
 - 相談や地域のサロン・食事会などの行事、民生委員・児童委員協議会等の福祉保健関係者との会合で直接耳にする生きた情報を収集し、ニーズの把握に努めました。法人仕様の地域アセスメントシートによる統計データと生きた情報を合わせ、そこから見えてくるものを地域ケア会議のテーマ設定に反映させ、地域課題の分析につなげました。

③総合相談支援

- 高齢者に関するさまざまな相談を受けとめ、相談内容を的確に把握しているか
 - 相談内容は3職種、所長・副所長で相談票を回覧して共有のうえ、ケアプラザ全体で把握・対応しました。
- 相談内容に応じて適切な情報（地域資源、一般介護予防事業等）を提供し、必要に応じて関係機関や制度、事業等につないでいるか
 - 介護保険サービスだけでなく、医療情報が必要な場合は協力医とも連携して情報収集を行い最新の知見での情報提供ができるよう努めました。また、介護予防事業や自主事業・サークル活動などケアプラザ内外の企画や活動機関なども含めて必要な情報の提供に努めました。
- 必要時に応じて継続的にフォローしているか
 - 特に対応が困難なケースについては、南区とのカンファレンス等を通じて継続的に状況確認を行い支援しました。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解し、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協等担当部署へつなぐ等適切な支援を行っているか
 - 本人または支援者からの相談を受け、必要時には区役所担当部署と連携のうえ対応しました。
- 成年後見制度等の普及啓発に取り組んでいるか
 - 成年後見サポートネットに参加するなど、ケアマネジャー等の支援者が集まる事業などで成年後見制度について情報提供を行い、普及啓発に努めました。
- 区長申立が必要な事例について、アセスメントに基づき、区役所等につなげているか
 - 区役所地区担当と情報共有しながら連携して対応しました。
- 親族申立支援にあたり家裁への手続きに関して適切なアドバイスができているか
 - 親族申立ての相談はほとんどありませんが、必要に応じて制度や手続きについての情報提供を行いました。

- 親族申立支援にあたり、第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスができて
いるか
- 親族申立ての相談はほとんどありませんが、必要に応じて専門職や職能団体等
についての情報提供を行いました。

②高齢者虐待への対応

○地域の身近な相談機関として、高齢者虐待の早期発見や予防・防止に向けた支援を
行い、虐待や虐待と疑われる相談・通報について地域包括支援センターとしてのネ
ットワークを活用して情報収集を行い、区高齢・障害支援課と連携して支援してい
るか

- 身近な相談機関としてのケアプラザの認識や高齢者虐待のことを知ってもらうた
めの方法として、普及啓発ポケットティッシュを作成し、ケアプラザ祭や地域行
事への参加の際に意義を説明のうえ配布しました。相談や通報があった際には、
民生委員やケアマネジャー等のネットワークを活用して情報を収集し、区地区担
当と共有・連携して対応しました。

○虐待防止に関する地域住民等への普及啓発のほか、虐待対応における市町村権限行
使にあたっての協力を行っているか

- 地域の住民に対しては、主に普及啓発ポケットティッシュを配布することで、知
るきっかけづくりに努めました。地域の民生委員等の福祉保健関係者については、
普及啓発ポケットティッシュと合わせて、普及啓発用に作成したパワーポイント
による普及啓発講座（今回は太田東部三者連絡会の研修会として）を行いました。
また、1階ケアプラザ館内廊下の一部に虐待予防・防止啓発ブースを設置し、広
く情報発信に努めました。次年度以降も引き続き地域の一般住民や福祉保健関係
者への啓発を行うとともに、介護保険事業所等へも普及啓発の活動を拡げます。

③認知症

○認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等（認知症サポーター養成講座や講演
会）の取組を積極的に行っているか

- 太田地区・太田東部地区キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を太
田小学校6年生、南太田小学校6年生を対象に行うことができました。また、太
田東部地区においては、キャラバンメイトと各町内会の民生委員が中心メンバー
として構成された太田東部オレンジの会によって、各町内会の役員を対象とした
認知症サポーター養成講座開催の必要性が協議され、各町内会の定例会に合わせ
た夜間講座を随時開催するに至りました。認知症キャラバンメイトの取組推進に
向けて、太田東部地区のオレンジの会を中心に、太田地区の活動についても支援
を続けます。

○認知症の人と家族が安心して暮らせるようにネットワークの構築に努めているか

- 地域の福祉保健関係者や介護保険事業者と、地域ケア会議やケアマネサロンなど
を活用してネットワークの構築を行いました。更に、地域と事業所を含めたネッ
トワークを構築するために民生委員・ケアマネジャー連絡会も行いました。

○認知症の人の早期発見・対応や状態に応じた切れ目ない支援体制づくりに取り組ん
でいるか

- ネットワーク構築の取り組みのなかで、認知症高齢者あんしんネットワークや見
守りシール事業等の情報提供を行い、必要に応じて利用登録を進めることで、切
れ目ない支援体制づくりに取り組みました。

○認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所の支援や家族のつどいなど介護者
支援を行っているか

- ケアプラザを会場として、毎月1回「介護者のつどい」を開催し、参加者である
介護者同士での情報交換や気持ちの共有、ケアプラザからの情報提供などの機会

を通じた場を作り、介護者支援を行いました。参加者も増えてきているため、開催を継続するなかで新たな参加者の獲得を目指すとともに、話しやすい場づくりなど、内容についても充実するよう努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

○ケアマネジャーのニーズ等の把握ができているか

- あずまカフェやケアマネサロンでの意見交換、またはアンケートや日頃の相談からニーズ等の把握を行い、あずまカフェやケアマネサロンの企画内容に取り入れました。

○地域のインフォーマルサービス（介護予防活動含む）や関係機関等の地域資源の情報収集・整理に努め、ケアマネジャーに情報提供しているか

- 日頃の相談時や広報紙などを通じて周知を行いました。

○地域住民や関係機関等に対し、介護保険制度やサービス、ケアマネジャーの役割などについて周知をしているか

- 地域の食事会やサロン、民生委員・ケアマネジャー連絡会等で周知を行いました。また、今年度は太田東部地区の3者連絡会にて介護保険制度の導入から利用までの研修を行いました。

○ケアマネジャーと地域の民生委員やボランティア団体、介護保険サービス事業者等の関係団体とのネットワークの構築のための取組み（情報交換会等）が行われているか

- 連合町内会ごとに民生委員とケアマネジャーの連絡会を企画し、今年度は「災害」をテーマにお互いできることについて意見交換を行い、担当ケアマネジャーの考えや民生委員の見守りの現状をお互いに確認することができました。

②医療・介護の連携推進支援

○ケアマネジャーと医療機関等とのネットワークの構築のための取組み（情報交換会等）が行われているか

- ケアプラザ協力医との勉強会を年6回実施しました。そのうち2回については、テーブルを使用せずイスのみで車座になり、リラックスした雰囲気の中での情報交換会を行いました。

○エリア内の医療機関（医師、医療相談員等）、事業所を個別に訪問し、情報交換等を行っているか

- 年4回発行のケアプラザ広報紙を届ける際に情報交換を行いました。また、エリアにある病院と互いの事業間の今後の協力について話し合いをしました。

○在宅医療連携拠点と連携し、地域の医療・介護連携を推進しているか（事例検討会・多職種連携会議・市民向け講演会・研修開催等の連携・協力）

- 在宅医療連携拠点と連携し、年6回のネットワーク会議に企画の段階から関わり、年10回の事例検討会・全体総会に参加しました。

③ ケアマネジャー支援

○ ケアマネジャーからの相談への支援

・ 相談対応、支援困難事例・緊急対応時等の支援等を実施しているか

- ケアマネジャーからの相談については、3職種で情報共有し、それぞれの専門性を活かし、状況に合わせた支援を行いました。

○ ケアマネジメントの質の向上支援

・ サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズ、事例検討・研修会・個別ケース地域ケア会議等の開催、事業所訪問による情報提供、ケアプラン立案等の相談支援、ケアマネジャー同士をはじめ多職種による連携支援を実施しているか

- ケアマネサロンにて民生委員との連携、介護保険の最新動向、事例検討会、訪問介護、自立生活支援についての研修会を行いました。また、居宅介護事業所が行う事例検討会の支援を行いました。

○ 新任・就労予定ケアマネジャーへの支援

・ 介護保険最新情報や地域の状況を反映した研修を実施しているか

- 新任ケアマネジャー向けの研修については、行政サービスの説明、事業所を知る機会として柴橋商会磯子センターと浦舟複合施設の見学、南区社会福祉協議会についての説明、社会福祉士分科会より虐待防止・予防研修を行いました。とくに虐待については、区内でも多くに相談があることから、毎年取り入れています。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

○ 個別ケース地域ケア会議を開催し、多職種の専門的視点を交えて検討することで、個別支援の充実、参加者の資質向上、関係職種の連携促進に取り組んでいるか

- 個別ケースの選定、会議内容の組み立て、進行について3職種それぞれの専門知識を活かして企画したうえで会議を行ないました。今年度は友愛活動推進員との連携強化をテーマに行ったことで、顔の見える関係づくりと友愛活動推進員の役割について知ることができました。

○ 地域ケア会議開催後の振り返りなどを通して、課題解決に向けた連携・協働の準備と調整を実施しているか

- 会議終了後には必ず振り返りを行い、次の地域ケア会議へのつながりや発展を考慮し、課題解決に向けた連携・協働の準備が進められるよう取り組みました。

○ 包括レベル地域ケア会議で、地域課題を検討し地域づくり・資源開発などに向けて取り組んでいるか

- 包括レベル地域ケア会議で把握した「たてとよこのつながり」を意識したテーマ設定をもとに個別の地域ケア会議の開催を行いました。地域づくりをするために、地域ケア会議をきっかけに取組が始まった「ひよっこり茶屋」は、2つの地区を越えて、だれでも利用できるサロンとして展開できるよう、地区社協の活動として支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

○ 事業対象者・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントができているか

- 出来ることに着目した目標・計画を提示するように努めました。

○ プランの中に給付以外の地域のインフォーマルサービス等を組み込む等、地域の特性を活かした支援ができているか

- お客様の状況に応じ、地域の介護予防教室やサロン・食事会・高齢者向け宅配弁当の案内を行う等、インフォーマルサービスを取り入れた支援に努めました。

○ 委託を行う場合はケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう支

援しているか

- 日頃からケアマネジャーに気兼ねなく相談してもらいやすいように、日常的な電話対応を始め、各種の連絡会などで常に顔の見える関係づくりを心がけました。また、担当者会議においては、お客様が自立した生活が送れるよう、地域包括支援センターとして専門的な見解を伝えるように努めました。

【実施内容】

- ・ 包括エリア内やブロックごとでの介護予防支援業務に関する研修会等を実施しております。
- ・ 地域のインフォーマルサービス（介護予防活動含む）等の情報を提供しております。

（６）一般介護予防事業

一般介護予防事業

○ 介護予防の知識と実技を学ぶ機会の提供ができているか（講座や教室の開催）

- 介護予防サポーターや脳トレウォーキング等、地域での介護予防活動を行っているボランティアのスキルアップ講座を開催しました。

○ 地域の高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけとなる情報提供や活動への参加を促しているか

- 元気作りステーション事業である介護予防教室3箇所と町内会2箇所で「お元気で21健診」を行いました。「お元気で21健診」は地域の高齢者の状況把握を行うとともに、参加者自身が認知機能や介護予防の必要性を認識する機会となりました。

○ 一般介護予防事業や自主事業で育成したグループの継続的な活動を促すなど、地域の中で介護予防の取組が広がるよう働きかけているか

- 清水ヶ丘公園での脳トレウォーキング教室をボランティアとともに定期的に開催しました。元気づくりステーション事業の後方支援を継続的に行いました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

（1）施設の維持管理について

施設の維持管理については、南区と締結した「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」に基づいて、施設・設備が良好な状態で利用できるよう努めました。

施設維持の保守点検等については、法令等を遵守し日々の通常管理の徹底を最重点業務として取り組みました。

とくに、当施設は、中部地域療育センターと併設されており、共有部分の管理等について業務及び費用の分担をあらかじめ定め、相互に協力しながら適切に進めました。

(2) 効率的な運営への取組について

法人として、市内20ヶ所の地域ケアプラザを運営しており、その強みを活かして法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入やリース業者との契約、職員採用や人材育成など様々な面で効率化を目指した取り組みを行いました。

(3) 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいても苦情解決担当者及び苦情解決責任者を選任し、利用者からのご意見やご要望、苦情等に対応しました。

利用者から寄せられた苦情については、毎月法人本部に報告のうえ、サービス向上委員会を開催し、内容の分析を行い、その結果を所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしました。

このほか、ケアプラザ受付窓口にご意見箱を設置して、広く利用者の声を受け付けるようにしました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

閉館中の夜間警備については、機械警備の方法により、専門業者に委託して実施しています。

大地震を始め、様々な場面を想定した「緊急対応マニュアル」を整備し、緊急事態が発生した場合には、このマニュアルに基づいて職員間の連携により対応していく仕組みを構築しています。マニュアルの内容については、定期的に見直しを行い、必要な情報を加筆修正しています。

災害発生時においては、消防署の指導により作成した防災管理計画に基づき、職員による自主消防隊を組織し、対応する仕組みを構築し防災訓練を行いました。

このほか、ケアプラザは、災害時における在宅要援護者のための福祉避難所に指定されており、マニュアル整備をして、非常災害時には臨時に避難者を受け入れることも想定しており、応急災害物資の備蓄などの準備体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

万一事故が起きた場合でも「事故から学び、同種の事故は起こさない」ことを基本に、利用者の立場に立った取組を行いました。

事故に至らなかった事例についても、積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意喚起のうえ事故防止に努め、月に10~15件のヒヤリハットが提出されました。

事故が発生した場合には、適正な対処に努め、事故の振り返りを行い検討した結果を、法人本部に報告のうえ、法人内部でもサービス向上委員会により内容検討を行い、その結果を所内会議及び衛生委員会において職員に周知し、再発防止に活かしています。

このほか、リスクマネジメントの視点を持つための研修や環境整備に努めるとともに、とくに介護保険サービスにおいては、利用者の心身の状態把握を行い、その情報をミーティングで申し送りのうえ、職員間の情報共有を図り、事故防止の視点をもったサービスの提供に取り組みました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の定める個人情報保護規程に則り、ケアプラザにおいても個人情報の管理に関する担当者及び責任者を選任し、職員に対する必要な指導及び情報提供に取り組むとともに、情報セキュリティ研修を年1回実施し、意識の啓発に努めました。

具体的な個人情報の管理においては、郵送物やファックス、各種配布物等の取り扱いについて、法人で定めたルールを遵守し、常に緊張感を持ってあたり、事故の発生防止に取り組みました。

(7) 情報公開への取組について

法人の定める情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応しました。

ケアプラザの事業内容や各種行事などについては、ホームページを定期的に更新し、利用者に最新の情報をお届けするよう取り組みました。

このほか、法人の概要や財務状況、事業計画等についても法人のホームページにおいて、いつでも閲覧できるようになっておりますので、そのことについて様々な機会を通じて、利用者への周知に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

法人本部が主催する人権研修に職員を派遣し、派遣した職員による伝達研修をケアプラザで実施し、人権に対する理解を深めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員一人ひとりが日常的なゴミの分別と適正な処理を心がけ、削減に努めました。

省エネルギーへの取組については、法人として夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを励行するとともに、ケアプラザにおいては、館内照明の消灯管理や冷暖房の適切な室温管理に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター

(看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、ケアプランナー) 5名

《目標に対する成果等》

○事業対象者・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目標志向型の介護予防ケアマネジメントができていますか

- ICFの視点を活かし、出来ることに着目した目標・計画を提示するように努めました。

○プランの中に給付以外の地域のインフォーマルサービス等を組み込む等、地域の特性を活かした支援ができていますか

- お客様の状況に応じ、地域の介護予防教室やサロン・食事会・高齢者向け宅配弁当の案内を行う等、インフォーマルサービスを取り入れた支援に努めました。

○委託を行う場合はケアマネジャーが、適切なケアマネジメントを実践できるよう支援しているか

- 日頃からケアマネジャーが相談してもらいやすいように、日常的な電話対応を始め、各種の連絡会などで常に顔の見える関係づくりを心がけました。また、担当者会議においては、お客様が自立した生活が送れるよう、地域包括支援センターとして専門的な見解を伝えるように努めました。

【実施内容】

- 包括エリア内やブロックごとでの介護予防支援業務に関する研修会等を実施しました。
- 地域のインフォーマルサービス（介護予防活動含む）等の情報を提供しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの居宅介護支援事業や通所介護事業、地域活動交流事業、また近隣の居宅介護支援事業所など多くの委託事業者と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
174	171	175	179	177	182
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	190	187	190	183	189

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）常勤3名、非常勤2名

《目標に対する成果等》

支援計画の作成にあたっては、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、自立した日常生活を可能な限り送ることができることを目標として努めました。

お客様の自己選択を尊重するとともに、公正中立な立場で総合的かつ効率的にサービスが利用できるよう配慮しました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉関係者及び介護保険サービス事業所、ボランティア団体等と連携を図り、お客様の要介護状態の維持や軽減を図り、安定した生活が営めるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

併設するケアプラザの地域包括支援センターや通所介護事業、地域活動交流事業と連携を図り、お客様の生活を迅速にサポートできる体制を築いています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
86	89.5	86.5	92	95	96
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96	97	97.5	96.5	95	96.5

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 692円
 - （要介護2） 816円
 - （要介護3） 947円
 - （要介護4） 1,076円
 - （要介護5） 1,205円
- 食費負担 750円
- 入浴加算 55円

《事業実施日数》 週 6日（月曜日から土曜日）

《提供時間》 9:40 ~ 16:45（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 5名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 18名（常勤兼務5名、非常勤専従13名）
- 運転職員 6名（非常勤専従6名）

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫しました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えられるように努めました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めました。

- ①四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努める。
- ②地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図る。
- ③お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がける。
- ④お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備しました。
- 毎日提供する食事の献立については、複数利用するお客様の献立内容が重複することがないように工夫し、バランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮しました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わ

せて食形態を一口大にするなど柔軟に対応しました。このほか、高血圧症の方や糖尿病の方、腎臓病の方などにも病状や体調に配慮した減塩食やカロリー制限食などを提供しました。

- 近隣の南愛児園、清水ヶ丘保育園、めいとく保育園の児童との交流会を実施しました。
- 車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- 南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施しました。
- 書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催しました。
- 麻雀ボランティアの方にご協力いただき、毎週月・水・木曜日に「麻雀クラブ」を開催しました。
- バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実を図りました。
- 口腔機能や心肺機能、姿勢を保つ筋力の維持向上などの機能訓練の他、歌う事により脳の活性化や他者とのコミュニケーション・いきがいや楽しみを持てるように通信カラオケ「DAM」を導入しました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
726	777	745	709	690	687
10月	11月	12月	1月	2月	3月
724	673	609	605	598	682

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	1, 072円
（要介護2）	1, 188円
（要介護3）	1, 305円
（要介護4）	1, 422円
（要介護5）	1, 539円
- 食費負担 750円
- 入浴加算 55円

《事業実施日数》 週 1日（日曜日）

《提供時間》 9:40 ~ 16:45（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- | | |
|---------|--------------------|
| 管理者 | 1名（常勤兼務） |
| 生活相談員 | 5名（常勤兼務） |
| 看護職員 | 1名（非常勤兼務） |
| 機能訓練指導員 | 1名（非常勤兼務） |
| 介護職員 | 8名（常勤兼務5名、非常勤専従3名） |
| 運転職員 | 1名（非常勤専従1名） |

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしていただくため、趣味のサークル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫しました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えられるように努めました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めました。

- ① 季節のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努める。
- ② 地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図る。
- ③ お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がけてまいりました。
- ④ お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備しました。
- 食事の献立についてはバランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮しました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わ

せて食形態を一口大にするなど柔軟に対応しました。

- 車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実を図りました。
- 口腔機能や心肺機能、姿勢を保つ筋力の維持向上 などの機能訓練の他、歌う事により脳の活性化や他者とのコミュニケーション・いきがいや楽しみを持てるように通信カラオケ「DAM」を導入いたしました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50	43	44	53	41	53
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	43	42	41	46	46

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認
- 給食
- 生活相談
- 介護サービス
- 送迎
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担の場合（2割負担の場合）
（要支援1・2 週1回程度） 1,766円（3,531円）
（要支援2 週2回程度） 3,621円（7,241円）
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6日（月曜日から土曜日）

《提供時間》 9:40 ~ 16:45（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 5名（常勤兼務）
- 看護職員 4名（非常勤兼務）
- 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務）
- 介護職員 18名（常勤兼務5名、非常勤専従13名）
- 運転職員 6名（非常勤専従6名）

《目標に対する成果等》

お客様の生活空間として、一日を楽しく有意義に過ごしてもらうため、趣味のサー

クル活動等により、ケアプラザを中心とした仲間づくりができるよう工夫しました。

また、お客様同士はもとより、地域のボランティアや近隣の小中学校・高校など様々な地域の皆様との交流を通じた事業により、お客様の一日の生活にいろどりを添えられるように努めました。

サービス提供にあたり安心・安全を第一に、より一層のサービス向上を目指して以下のことを重点に進めました。

- ① 四季折々のイベント（夏祭り、大運動会、敬老会、クリスマス会など）の充実に努める。
- ② 地域の保育園、小中学校、各種団体などを積極的に受け入れ、地域との交流を図る。
- ③ お客様の状態や状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心がける。
- ④ お客様の身体状況の維持と向上を目的として、午前と午後の2回に分けて、体操プログラムを実施する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じていただけるように、梅やレモン、ゆずなどの果実が実る木や草花、野菜を植え、中庭の環境を整備しました。
- 食事の献立についてはバランスのとれた食事を召し上がっていただけるように配慮してまいりました。また、お客様の日々の状態変化に気を配り、お身体の状態に合わせて食形態を一口大にするなど柔軟に対応しました。
- 車椅子の方や歩行に不安がある方でも安心して浴槽に入れるよう、リフト式の入浴装置を完備しています。
- 南区歯科医師会（田中医院）の協力をいただき、日曜日を除くすべての曜日でお口の健康相談を実施しました。
- 書道ボランティアの方を講師とした「書道クラブ」を毎月第2土曜日に開催しました。
- 麻雀ボランティアの方にご協力いただき、毎週月・水・木曜日に「麻雀クラブ」を開催しました。
- バーチャルレクリエーション「TANO」を導入し、新しいレクリエーションの形を取り入れ、さらなるアクティビティの充実に努めました。
- 口腔機能や心肺機能、姿勢を保つ筋力の維持向上 などの機能訓練の他、歌う事により脳の活性化や他者とのコミュニケーション・いきがいや楽しみを持てるように通信カラオケ「DAM」を導入しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
71	79	72	72	67	58
10月	11月	12月	1月	2月	3月
61	53	39	42	38	40

平成30年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,887,500	△ 502,209	15,385,291	15,385,291	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	148,450	△ 148,450	自主事業収入
雑入	0	0	0	16,000	△ 16,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0	0	0	16,000	△ 16,000	ビルトップフェスタ税金
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500	0	1,977,500	1,977,500	0	施設使用料相当額法人負担分
その他 (提案時控除 法人負担分)	2,254,611	0	2,254,611	2,254,611	0	提案時控除法人負担分
収入合計	20,119,611	△ 502,209	19,617,402	19,781,852	△ 164,450	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,436,715	548,712	
本俸	4,455,533	0	4,455,533	8,092,442	△ 3,636,909	本俸
社会保険料	966,522	0	966,522	1,040,274	△ 73,752	社会保険料
手当計	2,582,300	0	2,582,300	2,072,434	509,866	手当計
健康診断費	29,552	0	29,552	45,969	△ 16,417	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	23,250	0	23,250	8,633	14,617	勤労者福祉共済掛金
退職給付引当金繰入額	240,270	0	240,270	172,438	67,832	退職給付引当金繰入額
その他	3,688,000	0	3,688,000	4,525	3,683,475	その他
事務費	900,000	0	900,000	1,981,685	△ 1,081,685	
旅費	20,000	0	20,000	7,899	12,101	旅費
消耗品費	45,823	0	45,823	195,490	△ 149,667	ビクチャーレール等
会議購い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	120,000	0	120,000	137,496	△ 17,496	年賀状印刷・トナー等
通信費	244,130	0	244,130	331,235	△ 87,105	電話代、プロバイダ料金等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	19,103	△ 19,103	スチール倉庫
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	4,756	0	4,756	20,610	△ 15,854	業務災害保険
職員等研修費	0	0	0	1,125	△ 1,125	研修費
振込手数料	18,436	0	18,436	19,416	△ 980	振込手数料
リース料	376,605	0	376,605	774,124	△ 397,519	ADサーバー
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	70,250	0	70,250	0	70,250	
その他	0	0	0	475,187	△ 475,187	セキュリティシステム保守料等
事業費	1,642,000	0	1,642,000	595,163	1,046,837	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	16,630	25,370	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	1,600,000	0	1,600,000	578,533	1,021,467	講座経費
管理費	4,633,350	△ 502,209	4,131,141	3,895,207	235,934	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	1,877,000	0	1,877,000	2,095,603	△ 218,603	光熱水費
電気料金	1,000,000	0	1,000,000	698,534	301,466	
ガス料金	422,000	0	422,000	698,534	△ 276,534	
水道料金	455,000	0	455,000	698,535	△ 243,535	
清掃費	986,737	0	986,737	929,468	57,269	清掃費
修繕費	474,000	0	474,000	344,754	129,246	修繕費
機械整備費	25,802	0	25,802	23,652	2,150	機械整備費
設備保全費	489,896	0	489,896	425,619	64,277	設備保全費
空調衛生設備保守	341,750	0	341,750	287,595	54,155	空調衛生設備保守
消防設備保守	67,083	0	67,083	61,493	5,590	消防設備保守
電気設備保守	26,214	0	26,214	24,030	2,184	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	13,762	0	13,762	12,614	1,148	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	5,161	0	5,161	4,731	430	駐車場設備保全費
その他保全費	35,926	0	35,926	35,156	770	その他保全費
共益費	0	0	0	0	0	
その他	779,915	△ 502,209	277,706	76,111	201,595	設備点検等
公租公課	958,834	0	958,834	914,937	43,897	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	958,834	0	958,834	914,937	43,897	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	
その他 ()	0	0	0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	20,119,611	△ 502,209	19,617,402	18,823,707	793,695	
差引	0	0	0	958,145	△ 958,145	

自主事業費収入	264,000	0	264,000	148,450	115,550	自主事業への参加料等
自主事業費支出	264,000	0	264,000	578,533	△ 314,533	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 430,083	430,083	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

**平成30年度「横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,189,000	△ 133,498	23,055,502	23,055,502	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	200,000	△ 200,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理充当）	0	0	0	200,000	△ 200,000	実習生受入謝金
その他（提案時控除 法人負担分）	1,843,943	0	1,843,943	1,843,943	0	提案時法人負担分
収入合計	30,972,943	△ 133,498	30,839,445	31,039,445	△ 200,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	30,455,626	△ 2,979,333	
本俸	16,562,783	0	16,562,783	16,508,922	53,861	本俸
社会保険料	4,654,168	0	4,654,168	4,163,860	490,308	社会保険料
手当計	3,359,860	0	3,359,860	9,130,312	△ 5,770,452	手当計
健康診断費	142,500	0	142,500	33,960	108,540	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	23,250	0	23,250	28,134	△ 4,884	勤労者福祉共済掛金
退職給付引当金繰入額	720,806	0	720,806	584,063	136,743	退職給付引当金繰入額
その他	2,012,926	0	2,012,926	6,375	2,006,551	その他
事務費	330,000	0	330,000	1,621,762	△ 1,291,762	
旅費	32,000	0	32,000	41,875	△ 9,875	旅費
消耗品費	38,399	0	38,399	79,078	△ 40,679	車椅子バンク修理キット等
会議随費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	20,000	0	20,000	122,622	△ 102,622	トナー
通信費	162,267	0	162,267	396,503	△ 234,236	切手代・電話代・ネットワーク回線費用
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	19,103	△ 19,103	スチール倉庫
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	20,727	0	20,727	20,610	117	業務災害保険
職員等研修費	0	0	0	58,125	△ 58,125	研修費
振込手数料	34,166	0	34,166	19,549	14,617	振込手数料
リース料	22,441	0	22,441	760,240	△ 737,799	ADサーバー
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	104,057	△ 104,057	セキュリティシステム保守料等
事業費	1,935,000	0	1,935,000	891,089	1,043,911	
協力医	630,000	0	630,000	546,000	84,000	協力医謝金
指定管理料充当事業（包括）	845,000	0	845,000	103,841	741,159	講座開催費
指定管理料充当事業（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	講座開催費
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000	0	309,000	90,248	218,752	講座開催費
管理費	1,231,650	△ 133,498	1,098,152	1,032,724	65,428	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	500,000	0	500,000	557,058	△ 57,058	光熱水費
電気料金	300,000	0	300,000	222,650	77,350	
ガス料金	100,000	0	100,000	167,204	△ 67,204	
水道料金	100,000	0	100,000	167,204	△ 67,204	
清掃費	262,297	0	262,297	247,073	15,224	清掃費
修繕費	126,000	0	126,000	88,946	37,054	修繕費
機械警備費	6,858	0	6,858	6,286	572	機械警備費
設備保全費	130,216	0	130,216	113,131	17,085	設備保全費
空調衛生設備保守	90,842	0	90,842	76,448	14,394	空調衛生設備保守
消防設備保守	17,831	0	17,831	16,345	1,486	消防設備保守
電気設備保守	6,968	0	6,968	6,387	581	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	3,657	0	3,657	3,353	304	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	1,371	0	1,371	1,257	114	駐車場設備保全費
その他保全費	9,547	0	9,547	9,341	206	空気環境測定等
共益費	0	0	0	0	0	
その他	206,279	△ 133,498	72,781	20,230	52,551	設備点検等
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
三一式対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	30,972,943	△ 133,498	30,839,445	34,001,201	△ 3,161,756	
差引	0	0	0	△ 2,961,756	2,961,756	

自主事業費収入	0	0	0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0	0	0	345,089	△ 345,089	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 345,089	345,089	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 清水ヶ丘地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9,784	10,856	-1,072	20,279	17,267	3,012	81,109	83,691	-2,582	8,317	7,648	669
	その他	0	0	0	583	349	234	11,599	7,201	4,398	379	410	-31
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0	4,907	437	4,470			0
	認定調査料			0	583	349	234			0			0
	食費収入			0			0	6,692	6,764	-72	379	410	-31
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	収入合計(A)	9,784	10,856	-1,072	20,862	17,616	3,246	92,708	90,892	1,816	8,696	8,058	638
支出	人件費	3,099	4,359	-1,260	18,742	17,773	969	62,780	66,397	-3,617	3,821	3,992	-171
	事務費	320	432	-112	1,486	1,496	-10	6,601	6,825	-224	892	968	-76
	事業費	0	0	0	0	17	-17	16,394	13,444	2,950	856	801	55
	管理費	0	0	0	0	0	0	1,825	1,525	300			0
	その他	6,600	6,292	308	0	0	0	54	846	-792	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	54	20	34			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	6,600	6,292	308			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0		826	-826			0
支出合計(B)	10,019	11,083	-1,064	20,228	19,286	942	87,654	89,037	-1,383	5,569	5,761	-192	
収支 (A)-(B)	-235	-227	-8	634	-1,670	2,304	5,054	1,855	3,199	3,127	2,297	830	

平成30年度 自主事業報告書

清水ヶ丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちょこっとボランティア生活応援団 ちょぼら (高齢者支援)	ボランティアグループ生活応援団「ちょぼら」が地域の高齢者などを対象に生活支援（電球の交換から庭木の剪定、草むしり、障子の張替えなど）を行っているもので、ケアプラザでは、地域の皆さんからの依頼を受けるなどの相談・連絡・調整を担当しました。	随時 年間38件

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なでしこの会 食事会 (高齢者支援)	配食ボランティアグループ「なでしこの会」と共催で実施しています。食中毒予防のため、配食サービス中止の夏期間に利用者をケアプラザに招いて行い、会食と他ボランティアグループによる歌・演奏などを楽しんでいただきました。	年1回 7月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場「ベビーマッサージとベビーヨガレッチ」 (子育て支援)	乳児とその母親を対象とした講座で、赤ちゃんとのコミュニケーションを学びつつ、ケアプラザを相談の窓口のひとつとして知ってもらいました。また乳児を持つ母親に気分転換や地域での居場所作り、友だちづくりの機会として開催しました。 内容は講師を招き、1時間半のベビーマッサージとベビーヨガレッチを行いました。	年10回 第1木曜日 (5月、1月以外)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場「たけのこ」 (子育て支援)	子育て中の親子を対象に、毎月第2、第4金曜日に多目的ホールを開放して自由に過ごしてもらおう場として開催しました。 子育て全般の支援を目的としているほか、子育て中の母親同士やボランティアと母親の交流の場を目指し、支援者として清水ヶ丘保育園保育士、カンガルークラブ、地域の読み聞かせボランティアなどに協力いただきました。	月2回 毎月第2、第4金曜日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーコンサート (子育て支援)	音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図りました。	年2回 7月1日 12月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バリアフリーテニス (障がい児余暇支援)	障がいのある小学生・中学生・高校生を対象にした余暇支援講座です。テニスを媒体として親子や友だちと楽しい時間を過ごしました。障がい児を抱える家族の負担を軽減するとともに、子どもたちに余暇活動の機会を提供し、活動の場を地域に広げることを目指しました。	年3回 6月9日 11月3日 2月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操 (地域支援)	地域の親子や家族、住民を対象に身近なケアプラザを利用し、講師を招きみんなで体を動かし、家族で楽しい時間を過ごす場として開催しました。	年12回 第2日曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くらしと趣味の学習館 (地域支援)	住まいの小修繕等の講座を通じて仲間づくりや地域参加を推進しボランティア活動に興味を持ってもらうことを目的として、主に「生活応援団ちょぼら」のメンバーなどを講師に迎え、住まいの小修繕や趣味の講座を実施しました。	年3回 5月20日 「網戸の張替え方法」 6月17日 「庭木の剪定方法」 11月18日 「包丁の研ぎ方」

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のコンサート (多世代交流) ※新規事業	音楽家を招き、地域の方を対象とした演奏会です。身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図りました。	年1回 3月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
百人一首を楽しもう！ (多世代交流) ※新規事業	地域の方と小、中学生を対象に「百人一首」を一緒に楽しみながら交流を図ります。※開催なし	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレルーム (高齢者支援)	簡単なプリントを使った脳トレーニングを行い脳を活性化するとともに外出機会のひとつとなり、みんなで集まることによる仲間づくりと交流を促進することを目的に開催しました。	全4回 8月20日、27日 9月3日、10日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーコンサート (高齢者支援) ※新規事業	身近なケアプラザを利用し、活動の場を広げるために音楽を媒体として楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を図るために音楽家を招き、地域のファミリー層を対象とした演奏会を開催しました。	年1回 9月27日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 研修 「食中毒の原因 とその予防」	ボランティアのスキルアップを目的として、ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象とした講座を開催しました。	年1回 6月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポ イント登録研修 会	ボランティア活動につながる支援として、地域の方やケアプラザで活動中のボランティアを対象によこはまシニアボランティアポイント登録のための研修会を行いました。	年1回 1月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	ケアプラザを中心に活動しているボランティアを対象に実施しました。日頃の活動に対する感謝とともに、ボランティア同士の交流と親睦を図るため、各団体の紹介を中心に、歌、楽器演奏なども披露していただきました。	年1回 3月16日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ドンドン商店会 縁日出店	地元商店会の縁日に参加し、ケアプラザのPRを兼ねて地域住民との交流を図るため、ボランティアの協力により、ゲームコーナーやミニバザーなどを企画・出店しました。	年1回 8月5日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり 「ヒルトップ フェスタ」	清水ヶ丘地域ケアプラザのPRと地域住民との交流、ボランティア団体・個人、関連施設との交流と連携を目的に開催しました。 ボランティアやサークル団体などの発表会や地域の福祉保健関係団体・地域の商店の出店の出店、近隣の青陵高校などにも協力をしていただきました。	年1回 10月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太田東部地区 「健民祭」参加	太田東部地区で開催される健民祭に参加し、町内会・民生委員と連携して地域住民との交流、ケアプラザをPRしていきます。※開催中止	中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷコンサート	家族で楽しめる内容を企画し、子育て支援にとどまらず、家族支援へつなげていくとともに、イベントを通して広くケアプラザの存在や役割を知ってもらい、新しい参加者を呼び込むことを目的に「法人のスケールメリットを活かした事業の実施」として、地域ケアプラザ20館が共催してコンサートを開催しました。	年1回 9月29日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
南区健康福祉まつり 「南なんデー」 参加	生活支援コーディネーターが参加し、生活支援体制整備事業のPRコーナーを設置します。	年1回 10月7日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
協議体 (太田東部地区 集いの場づくり)	ドンドン商店会にある空き店舗を住み開きで使用させてもらい、そこを会場として、集いの場「ひよっこり茶屋(ドンドンのたまり場)」を開催するための話し合いの機会として協議体を開催しました。 集いの場は7月6日にプレオープン、9月7日から定例開催となった。開催した際には、運営を支援をしました。	4月20日 5月4日 5月23日 6月1日 6月18日 7月9日 9月7日 11月16日 12月20日 1月21日 2月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむ!! ランニング 体験講座	40～60代の就労者層へケアプラザを知ってもらうきっかけの一つとなるよう夜間講座として開催しました。昨年度は5回の連続講座としましたが、参加のハードルが高くなることから、今年度は単発の体験講座として内容を一新しました。 また、昨年度に実施したランニング入門講座から立ち上がった自主サークルに講座のサポートと講座参加者のサークル受入を依頼し、夜間の施設利用の活性化を図るとともに、自主サークルのメンバーがその他の地域活動などにもつながるようなアプローチしました。	7月13日 8月24日 9月28日 10月12日 11月30日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
超初心者向け 合気道 体験講座	夜間に施設利用している合気道サークルのメンバーに講師を依頼し、年齢を制限せず、幅広い層に対しケアプラザを知ってもらうきっかけの一つとなるようにケアプラザ祭内で開催しました。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成30年度南区 地域ケア会議 (共催事業)	南区役所、地域包括支援センターと共催し、協議体を兼ねて実施します。包括レベル地域ケア会議で講師(つながるクリニック)による事例検討を実施し、日常生活圏域ごとの地域特性や課題等を整理しました。	6月20日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	「認知症を学び、地域で支える」をテーマとして、太田地区と太田東部地区各々の地域にて、キャラバンメイトによる講座開催を支援しました。	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「ハッピー・ストレッチ」	太田地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取りれた介護予防教室の運営を支援しました。	月2回 (年21回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「いきいきダンベル体操教室」	太田東部地区とその近隣地区の参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取りれた介護予防教室の運営を支援しました。	月3回 (年30回)

元気づくりステーション事業「玄米ンギニギダンベル・ストレッチ体操」	太田地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取りれた介護予防教室の運営を支援しました。	月2回 (20回)
-----------------------------------	--	-----------

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気づくりステーション事業「清水ヶ丘第二玄米ダンベル体操教室」	太田東部地区において、参加者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるように、ダンベル体操を軸に介護予防の必要性、ロコモ予防、口腔ケア・栄養改善・認知症予防に関するものを取り入れた介護予防教室の運営を支援しました。	月2回 (年24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化事業「みんなの脳トレウォーキング教室」	太田東部・太田地区の高齢者を対象に、参加者が自主的、継続的に介護予防に取り組めるように、脳トレ、口腔ケア、栄養改善、介護・認知症予防に関する内容を取り入れた介護予防教室を企画・開催しました。	月2回 (年18回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お元気で21健診	運動や認知機能低下等、健康寿命に影響するサインを早期発見できるように、包括版、地域版の「お元気で21健診」をかいご予防サポーターとともに開催しました。	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かいご予防サポーター定例会	太田地区、太田東部地区のかいご予防サポーターによる、地域での介護予防の普及に向けて、地域での活動の検討や、スキルアップのための講習会を開催しました。	年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症キャラバンメイト定例会	認知症キャラバンメイトによる、エリア内の認知症サポーター養成講座の内容について対象別に検討いたしました。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度普及啓発事業	成年後見制度の理解の促進及び制度の適切な活用方法を知ることが目的とし、民生委員・町内会役員等の地域福祉関係者、又は介護保険事業者（主にケアマネジャー）向け勉強会等を開催を予定していましたが、区と区内包括共同の一般向け講座を行ったため開催はしませんでした。	開催なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者虐待防止普及啓発事業	地域の自治会・町内会、民生委員、地区社会福祉協議会友愛活動員等、また広く一般の地域住民向けに普及啓発物品を作成・配布しました。また南区で作成した普及啓発用パワーポイントを使用し太田東部三者連絡会の研修会で民生委員・保健活動推進員・友愛推進員など地域福祉関係者への講座を行い高齢者虐待防止についての認識や意識の向上を図りました。あわせて、地域の福祉保健活動者との更なる連携・相談体制の強化を図ることができました。	物品配布は連合町内会、民生委員・児童委員協議会参加時、ケアプラザ祭り、地域の食事会やサロンにて配布しました。 (8/1～3/31) 講座は太田東部地区三者連絡会にて11/26に開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い「みんなの会」	介護者を抱える家族を対象に外出や気分転換の機会を提供し、活動の場を地域に広げてもらうとともに、介護や介護者に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しました。	年12回 毎月第3金曜日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー 連絡会	地域のケアマネジャーを対象として、介護技術向上を目的としたスキルアップ講座や勉強会の開催、介護保険や福祉関係の制度や行政サービス等の情報提供を行いました。 地域福祉関係者（民生委員）との交流も含めた「連絡会」として開催し、顔の見える関係づくりを目指しました。	平成30年 11月21日 平成31年 3月11日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あずまカフェ	ケアプラザの協力医の医師とケアマネジャーとの、情報交換会を定期的に行い関係性が築けることを目指しました。	平成30年 5月18日 7月20日 9月21日 11月16日 平成31年 1月18日 3月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	ケアマネジメントを実践する為に必要な情報の共有、勉強会を定期的に行い資質向上を目指しました。	4月20日 6月15日 8月17日 12月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平成30年度南区 地域ケア会議	地域ケアプラザに寄せられる総合相談より、個別の事例を通じて地域状況を関係機関と共有し、ネットワークの構築を行いました。	6月20日 10月19日

平成30年度 自主事業収支報告書

清水ヶ丘地域ケアプラザ【地域交流活動事業】

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て広場 「ベビーマッサージとベ ビーヨガレッチ」	未就園児親子	66820	地活	41320	25500		66820	0	0
	173名		包括						
	300円		介護						
			生活						
子育て広場 「たけのこ」	乳幼児親子	9496	地活	9496	0		0	0	9496
	315名		包括						
	無料		介護						
			生活						
子育て広場 「ファミリーコンサート」	乳幼児親子	22272	地活	22272	0		22272	0	0
	37名		包括						
	無料		介護						
			生活						
障がい児余暇支援事業 バリアフリーテニス	障がい児	35262	地活	31062	4200		30000	5262	0
	32名		包括						
	300円		介護						
			生活						
みんなで体操	地域	66816	地活	66816	0		66816	0	0
	165名		包括						
	無料		介護						
			生活						
くらしと趣味の学習館	地域	10023	地活	3423	6600		10023	0	0
	33名		包括						
	300円		介護						
			生活						
春のコンサート ※新規事業	地域	11136	地活	11136	0		11136	0	0
	15名		包括						
	無料		介護						
			生活						
百人一首を楽しもう！ ※新規事業	地域、小・中学生	0	地活	0	0		0	0	0
	中止		包括						
	無料		介護						
			生活						
脳トレルーム	地域	6002	地活	6002	0		0	3842	2160
	42名		包括						
	無料		介護						
			生活						
シルバーコンサート ※新規事業	地域	11136	地活	11136	0		11136	0	0
	35名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ボランティア研修 「食中毒の原因と予防」	地域	4960	地活	4960	0		0	0	4960
	24名		包括						
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

よこはまシニアボランティア ポイント登録研修 会	地域	0	地活	0	0		0	0	0
	5名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ドンドン商店会縁日出店	地域	24026	地活	9126	14900		0	19026	5000
	200名		包括						
	内容により		介護						
			生活						
ヒルトップフェスタ	地域	159359	地活	62109	97250		0	154737	4622
	503名		包括						
	内容により		介護						
			生活						
ボランティア交流会	ボランティア	141225	地活	141225	0		0	0	141225
	54名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ちゅーりっぷコンサート	地域	10000	地活	10000	0		0	0	10000
	228名		包括						
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

清水ヶ丘地域ケアプラザ【地域包括支援センター運営事業】

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防教室	地域高齢者	126500	地活	0		56705	50195	19600	
	300名		包括						126500
	無料		介護						
			生活						
お元気で21健診	地域高齢者	9500	地活					9500	
	100名		包括						9500
	無料		介護						
			生活						
かいご予防サポータースキルアップ研修	かいご予防サポーター	15000	地活			15000			
	約45名程度		包括						15000
	無料		介護						
			生活						
成年後見制度普及啓発事業	一般住民・地域福祉保健関係者	0	地活						
	0		包括						
	無料		介護						
			生活						
高齢者虐待防止普及啓発事業	一般住民・地域福祉保健関係者	29,533	地活				24062	5,471	
	※1000個		包括						29533
	無料		介護						
			生活						
介護者のつどい「みんなの会」	介護者	60945	地活			40092		20853	
	57名		包括						60945
	無料		介護						
			生活						
ケアマネジャー連絡会	ケアマネジャー・訪問介護事業所等	5,115	地活					5,115	
	民生委員		包括						5,115
	56名		介護						
			生活						
あずまカフェ	ケアマネジャー・訪問介護事業所等	4,275	地活					4,275	
	111名		包括						4,275
	無料		介護						
			生活						
ケアマネサロン	ケアマネジャー・訪問介護事業所等	614	地活					614	
	82名		包括						614
	無料		介護						
			生活						
地域ケア会議	地域関係者・福祉関係者	3,359	地活					3,359	
	25名		包括						3,359
	無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

清水ヶ丘地域ケアプラザ【生活支援体制整備事業】

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
親子で楽しむ！！ ランニング体験講座 (5回連続)	40～60代の就労者層	40810	地活	0		25000		15810
	88名		包括					
	100円		介護					
			生活					
超初心者向け 合気道体験講座 (全1回)※新規事業	地域	0	地活					
	制限なし		包括					
	無料		介護					
			生活					
平成30年度南区地域ケ ア会議(共催事業)	地域の福祉保健関係者	2052	地活					2052
	53名		包括					
	無料		介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。